

歯止めのかからない物価高騰により景気後退が加速

需要喚起策による効果見られるも、先行きは不透明

～景況 DI 値は、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス7.9～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比26.3ポイント低下のマイナス36.9。非製造業では、前月比36.8ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス5.2。

販売(受注)価格 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス26.3、前年同月比10.5ポイント低下のプラス47.4。非製造業では、DI 値前月比15.8ポイント低下のプラス26.3、前年同月比31.6ポイント上昇のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス42.1。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス5.2。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス10.5。非製造業では、前月比31.6ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス5.3。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス15.8。

景況 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比15.8ポイント低下のプラス5.2。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント低下のマイナス13.1、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス7.9となった。製造業では、概ね全ての業種で円安等に伴う原油・原材料価格や光熱費等の高騰の影響が続いている。特に金属製品関連を中心に光熱費高騰の影響が顕著であり、収益を大きく圧迫している。非製造業では、3年ぶりに行動制限のない年末を迎え、帰省客や観光客が大幅に増加した。観光関連は全国旅行支援、飲食関連はプレミアムチケット等の需要喚起策による一定の効果が見られたものの、歯止めのかからない物価高騰と新型コロナ第8波の影響による消費マインドの低下が懸念される。県内景況は、年末需要期を迎え一定の発注・消費行動が見られたものの、原材料価格や光熱費等の高騰などの影響により景気後退が加速しており、加えて、人材確保難や人件費上昇に伴う収益圧迫もあり、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

12月の全国倒産は、件数592件で、前年同月を18.2%上回り、8カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は687億1,400万円(負債総額1,000万円以上)で、前年同月を29.6%下回り、12月としては50年ぶりの低水準となった。不況型倒産の構成比は78.0%(対前年同月2.2ポイント増)を占めた。

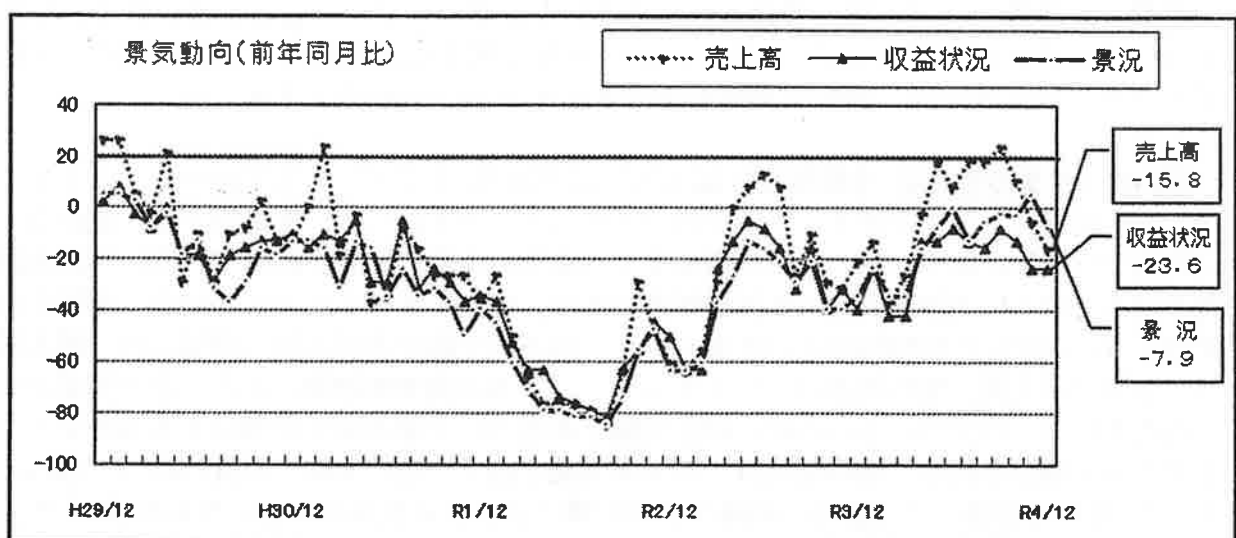
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件(前月2件)、負債総額は5,000万円(前月5,000万円)、業種は「小売業」が1件。主因別は「販売不振」が1件。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」)

鳥取県の11月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.53倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.35倍)で、前月より0.06ポイント低下。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.44倍、米子所1.79倍、倉吉所1.88倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.61倍(季節調整値)で、前月より0.15ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比6.2%増加し、有効求人数は9.8%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、公務・その他(52.2%)、運送業・郵便業(34.2%)、製造業(23.0%)、サービス業(3.3%)、卸売業・小売業(2.5%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比2.2%減少、有効求職者数は前年同月比1.9%減少となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.55倍で、前年同月を0.17ポイント上回った。新規求人数は前年同月を16.6%上回った。



12月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	26.3%	-10.5 5.3	26.3%	36.8%	-10.5 -36.8	21.1%	31.6%	-10.5 -15.8
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -10.5	16.7%	8.3%	8.4 -0.1	9.7%	12.9%	-3.2 0.0
(3) 販売価格	26.3%	0.0%	26.3 0.0	26.3%	0.0%	26.3 -15.8	26.3%	0.0%	26.3 -7.9
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	5.3%	-5.3 2.6
(5) 収益状況	5.3%	31.6%	-26.3 10.5	15.8%	21.1%	-5.3 -21.1	10.5%	26.3%	-15.8 -5.3
(6) 資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	15.8%	-15.8 -31.6	0.0%	10.5%	-10.5 -13.1
(7) 設備操業度	5.3%	26.3%	21.0 -31.6						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 -5.3	2.6%	5.3%	-2.7 -2.6
(9) 景 況	5.3%	31.6%	-26.3 5.2	5.3%	5.3%	0.0 -15.8	5.3%	18.4%	-13.1 -5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	47.4%	-36.9 -26.3	36.8%	31.6%	5.2 5.3	23.7%	39.5%	-15.8 -10.5
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 -5.2	16.7%	8.3%	8.4 25.0	16.1%	9.7%	6.4 6.5
(3) 販売価格	47.4%	0.0%	47.4 -10.5	42.1%	0.0%	42.1 31.6	44.7%	0.0%	44.7 10.5
(4) 取引条件	10.5%	10.5%	0.0 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	7.9%	13.2%	-5.3 0.0
(5) 収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 0.0	21.1%	26.3%	-5.2 0.0	13.2%	36.8%	-23.6 0.0
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	15.8%	21.1%	-5.3 -10.6	10.5%	18.4%	-7.9 -5.2
(7) 設備操業度	10.5%	26.3%	-15.8 -15.8						
(8) 雇用人員	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	21.1%	-15.8 -10.6	5.3%	10.5%	-5.2 -2.7
(9) 景 況	10.5%	31.6%	-21.1 -10.6	26.3%	21.1%	5.2 -15.8	18.4%	26.3%	-7.9 -13.2

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより収益が圧迫されている。製品の値上げを試みるも、取引への影響も散見されるなど厳しい状況が続いている。

醤油⇒ 原材料の価格は依然として高止まりの状態が続いている。こうしたなか、業界大手の値上げ発表の影響により、地方の中小企業者の販売価格も上昇してきているものの、収益の改善には至っていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 中国のゼロコロナ政策終了に伴い、中国人技能実習生の帰国が相次ぎ、生産体制の維持が困難な状態となっている。為替の影響により、国内需要は高まりつつあるものの、需要に対し販売価格が上がりきらないことが問題となっている。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 学生服、ユニフォームは生産工場がなく納期に追われている。店舗・無店舗通販は依然として厳しい状況が続いている。食料品等生活必需品の価格上昇の影響により衣料品消費を控えるなどの影響が出ている。

【家具装備品】

⇒ 電気料金等種々の経費が上昇するなど物価高騰の影響が常態化しており、業況は厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で不変。合板の生産量も同水準で推移している。原木の出材量が減少する時期であり、原木価格はやや強含みで推移。着工数も少なく、製材品の動きは落ちている。プレカット加工の稼働率は、前月比40%減少、前年同月比25%減少となった。

【紙・加工品】

和紙⇒ 12月に今年度2度目となる値上げを実施した。需要期を迎えていることと、値上げによる影響により売上、操業度ともに上昇した。年明け以降の売上減少が懸念される。

【印刷】

⇒ 需要期となり例年並の受注数は戻っているが、数量の減少が続いており、操業度や利益の増加には至っていない。各社で経費の削減や効率化を進めている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 12月の生コン出荷量は、前月比17%減少、前年同月比16%減少。各地区ともに新規大型プロジェクト事業が少なく、全体的に引き合いは低調。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への

転嫁に苦慮している。また、コンクリートの混和剤・膨張剤が不足している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は少ないが、県外物件を受注できている事業所は多忙となっている。機械加工は、半導体等部品不足の影響により、納期遅れが続いている。自動車メーカーの部品不足は深刻で、減産が続いており、今後もより厳しい状況が予想される。最低賃金上昇による人件費増に加え、光熱費等高騰の影響により収益を圧迫している。

鉄骨加工⇒ 鋼材費の高騰は電炉材については一服感があるが、今後の見通しは不透明。溶接材料、ガス等の消耗品、副資材などの仕入れ価格が上昇しており、収益を圧迫する要因となっている。物件の発注量は底堅く推移している。

金属熱処理⇒ 受注状況は前月比2%減、前年同月比4%の減少となった。引き続き金属加工関係は低迷した状況が続いている。業況は電気を中心としたエネルギー価格の高騰は値上げした受注単価で吸収できる領域を越えており、一度値上げの了解を得た料金を、最近の電気料金値上げにより再値上げを余儀なくされている状況となっている。

【電気機械器具】

⇒ 業界の動向は安定的に増加傾向にあるが、海外の生産活動も徐々に活発になりつつある。国内回帰で増加した生産活動も円安とのバランスで海外生産に切り替わる物も増加してきている。人件費の上昇、人員不足により増産に対応できなくなっており、残業や派遣人材の活用や経費増により利益確保は厳しい状況にある。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、コロナ禍の行動制限が緩和されたことにより、取扱数量は前年比、前年同月比で増加した。取扱数量の増加に伴い売上高は前月比で増加したが、前年同月比では取引単価の低下により横ばいで推移した。鮮魚関係では、単価の上昇の影響により取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少。売上高は、ズワイガニの単価上昇により前月比で増加したものの、前年同月比では減少した。雇用については退職者補充の求人を出しても採用に結びつかない厳しい状況が続いている。

中部地区⇒ OA機器商品の入荷が概ね回復してきたものの、一部商品で受注後3か月待ちなどの状況となってきた。年度末に向けた各種需要への準備が必要。

西部地区⇒ 一部で半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。このほか、ウッドショック、円安等による原材料高騰の影響が見受けられる。10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げにより今後の消費全般への影響が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は時化の影響と2船団が事故のため操業できず、前年同月比で大きく水揚げ量が減少した。期待された年末の天然ブリの水揚げも少量に終わった。近海の松葉ガニも時化の影響で不安定な水揚げとなり、年末需要に対応しきれず異常な高値となった。紅ズワイガニは操業日が限られ水揚げ数量が減少したことに加え、松葉ガニの代用とした「姿売り」の注文が集中し、

浜値高傾向が続いた。

リサイクル原料⇒ 価格動向や景況等については、前月比、前年同月比ともに大きな動きはなく横ばいの状況。古紙回収については、依然として他地域からの進入に苦慮している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、年末商戦でも外出を控える動きは続いている。延長して実施されていた鳥取県安心対策エリア版お食事クーポン事業も一部の商店街では12月20日に終了し、飲食店では今後の客足の低下が懸念される。引き続き食品、生活用品、電気、水道、燃料の値上げラッシュにより消費意欲が一段と減退している。小売業は、年末商戦の時期を迎えるも消費は戻らず厳しい状況が続いている。飲食関係は、県のプレミアムチケットと市の振興チケットが追い風になっている。期間終了後も再開が決定しているため今後も期待が大きい。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、プレミアム付きクーポン券が延長され、忘年会シーズンでもあり飲食店の好調が維持された。商店での購買機運を高めるため、12月25日にGINZA X' mas「年末福高セール」を実施。松葉ガニをはじめ、はわい温泉招待券、牛肉セット商店街賞など空くじなしのクリスマス抽選会を行い大変賑わいを見せた。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、12月は広場にひまわりツリーを設置し、米子市文化振興課主催のライトアップ&イルミネーションイベント「Yonago マチノヒカリ★2022 WINTER」とも連携し、12月2日～12月27日まで点灯した。

境港市の水産物小売では、今年4月にリニューアルオープンした境港水産物直売センターが初めての年末を迎えることとなったが、出店する各店舗では前々年、前年に比べ売上が増加した。3年ぶりに行動制限のない年末とあって、正月用のカニなど高価格な水産物を購入する消費者が増加した。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、12月に入り悪天候もあり中旬頃まで観光客の入込数は減少。観光支援に加え、帰省客もあり下旬から観光客が大幅に増加した。売上高は前月比で減少、前年同月比は増加した。

米子市のホテル・旅館では、12月は例年売上が増加する月であるが、感染急拡大と降雪の影響によりキャンセルが多発したことから前月比で売上は減少し、収益状況も悪化した。前年同月比では全国旅行支援の効果もあり売上高は増加し、販売価格も上昇、収益状況も好転した。業界全体では、物価上昇による収益確保が非常に厳しい状況であり、販売価格をやむを得ず引き上げ売上増加を図るしか方法がなく、経営に苦慮している。

三朝温泉では、全国旅行支援により12月中旬までは全旅館が好調であったが、支援の延長と新型コロナ第8波が重なったためか下旬以降で予約速度が弱まった。支援のない期間は年末年始も予約が埋まっていない旅館が目立つ。支援延長以降も集客が苦しく、ツアー催行の中止が目立つ。雇用人員の確保に苦慮している。

羽合温泉では、全国旅行支援の後押しもあり、前月に続き宿泊は好調で、コロナ禍以前並みの宿泊客数まで回復してきている。年明け以降の旅行支援による宿泊予約は低調で、材料費の高騰が続いているが、価格転嫁は難しく、不安定な景況が続く。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて1,894台で前月比が10%減少、前年同月比は5%増加となった。中古車は483台で前月比が13%減少、前年同月比も17%減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は13,810台で前月比が8%減少、前年同月比は3%増加。新車に関しては先が読めない状況であり、継続検査は引き続き横ばい状態である。

【建設業】

⇒ 11月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額39億円（前年同月比8.2%減）、件数112件（前年同月比0.9%減）となった。年度累計（令和4年4月～11月）は、請負金額581億円（前年同月比24%減）、件数1,268件（前年同月比2%減）となった。県関係工事などが押し下げ、単月で前年比マイナス。設備投資は、単月、3か月平均ともに前年比マイナスが続き、住宅建設は単月で前年比プラスとなるも、3か月平均はマイナスとなった。建設資材や燃料価格の高騰によるコスト負担増や人手不足に伴う受注機会の損失に加え、価格転嫁の遅れによる採算割れも発生している。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は276戸（持家154戸、貸家122戸）で、前月比60%増加、前年同月比7%増加となった。

【運輸業】

東 部 地 区⇒ 12月の物流は、製造業の一部に生産調整が継続しており物流の減少が続いているなか、停滞していた農産物の出荷量が増加し空車状況は避けられたものの、厳しい状況は続いている。復路荷物の情報も前月より増加し成約率も増加したが、効率の悪い運行も多くあり、引き続き厳しい状況。売上は前月比、前年同月比ともに横ばい傾向がみられたが、燃料価格の高値が続き収益に悪影響を及ぼしている。

西 部 地 区⇒ ウクライナ情勢及び円安動向、新型コロナ第8波の影響を受け、荷主である地場製造業者の出荷は不安定要素が増加、それに伴って地場運送受注状況も不安定な状態が続いている。加えて、燃料価格についても依然として高値で推移しており、厳しい状況が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・地域振興券は飲食と小売・サービスを分けずに全体で消費が上がるようにしてほしい。【商店街】
- ・春商戦に向けた支援策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・業況に応じた支援施策の検討。コロナ借入金の元本返済猶予。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-5.2
	全業種	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-2.6
在庫数量	製造業	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	-21.1
	非製造業	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	-0.1
	全業種	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	-12.9
販売価格	製造業	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	15.8
	非製造業	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	21.0
	全業種	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	18.4
取引条件	製造業	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-15.8
	非製造業	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	10.5
	全業種	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-2.6
収益状況	製造業	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-10.5
	非製造業	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	15.7
	全業種	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	2.6
資金繰り	製造業	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	5.2
	非製造業	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	10.5
	全業種	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	7.9
設備操業度	製造業	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-21.1
雇用人員	製造業	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3
	非製造業	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5
	全業種	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-8.0
景況	製造業	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-21.0
	非製造業	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	26.3
	全業種	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	2.6

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-31.6
	非製造業	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	42.1
	全業種	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3
在庫数量	製造業	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	0.0
	非製造業	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	25.0
	全業種	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	9.7
販売価格	製造業	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	21.1
	非製造業	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	21.0
	全業種	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	21.1
取引条件	製造業	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	5.2
	非製造業	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	5.3
	全業種	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	5.3
収益状況	製造業	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	0.0
	非製造業	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	52.6
	全業種	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	15.8
資金繰り	製造業	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	26.2
	全業種	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	15.7
設備操業度	製造業	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-10.6
雇用人員	製造業	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0
	非製造業	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	0.0
	全業種	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	0.0
景況	製造業	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	10.5
	非製造業	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	42.2
	全業種	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	26.3

情報連絡員報告総括表(令和4年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

		売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製	食料品	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	1
	繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	1	0	2	1	0	3	0	0	0	3	0	0	2	1	
	木材・木製品	0	2	2	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
	化学ゴム																												
造	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
	一般機器	0	2	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	輸送用機器																												
	その他																												
非	卸売業	19	3	11	5	1	15	3	5	14	0	0	17	2	1	12	6	0	18	1	1	13	5	0	19	0	1	12	6
	小売業	100%	15.8%	57.9%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	63.2%	31.6%
	商店街	2	4	0	0	5	1	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0					0	5	1	0	6	0
	サービス業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0					1	0	0	1	0	0
	建設業	2	2	0	1	3	0	1	3	0	1	4	0	1	2	1	0	2	2					0	4	0	0	4	0
	運輸業	0	0	5				1	4	0	0	5	0	0	3	2	0	4	1					0	4	1	0	4	1
業	その他	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0					0	1	0	0	1	0
		0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0					0	2	0	0	2	0
	19	5	7	7	2	8	1	5	14	0	0	19	0	3	12	4	0	16	3					1	16	2	1	17	1
	100%	26.3%	36.8%	36.8%	16.7%	66.7%	8.3%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%					5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%
	38	8	18	12	3	23	4	10	28	0	0	36	2	4	24	10	0	34	4	1	13	5	1	35	2	2	29	7	
100%	21.1%	47.4%	31.6%	9.7%	74.2%	12.9%	26.3%	73.7%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%	2.6%	92.1%	5.3%	5.3%	76.3%	18.4%		

回 答 数 38(100%)

情報連絡員報告総括表(令和4年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	1	0	1
繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	2	2	0	0	2	2	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	2	2
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2
一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送用機器																											
その他																											
19	2	8	9	3	14	2	9	10	0	2	15	2	1	9	9	1	15	3	2	12	5	1	18	0	2	11	6
100%	10.5%	42.1%	47.4%	15.8%	73.7%	10.5%	47.4%	52.6%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	47.4%	47.4%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	57.9%	31.6%
非卸売業	0	3	3	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	4	2	0	6	0				0	5	1	0	6	0
小売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	1	0	0
商店街	1	1	2	1	3	0	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2				0	1	3	0	3	1
サービス業	4	0	1				3	2	0	1	3	1	3	2	0	3	2	0				1	4	0	4	1	0
建設業	0	1	0				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	0	2
その他																											
19	7	6	6	2	8	1	8	11	0	1	15	3	4	10	5	3	12	4				1	14	4	5	10	4
100%	36.8%	31.6%	31.6%	16.7%	66.7%	8.3%	42.1%	57.9%	0.0%	5.3%	78.9%	15.8%	21.1%	52.6%	26.3%	15.8%	63.2%	21.1%				5.3%	73.7%	21.1%	26.3%	52.6%	21.1%
38	9	14	15	5	22	3	17	21	0	3	30	5	5	19	14	4	27	7	2	12	5	2	32	4	7	21	10
100%	23.7%	36.8%	39.5%	16.1%	71.0%	9.7%	44.7%	55.3%	0.0%	7.9%	78.9%	13.2%	13.2%	50.0%	36.8%	10.5%	71.1%	18.4%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	18.4%	55.3%	26.3%

